

東京都立大学 正員 小坂 俊吉

東京都立大学 正員 塩野 計司

東京都立大学 正員 堀口 孝男

1. はじめに

現在,市町村は災害対策基本法により地域防災計画(地震編)を策定している。この計画策定に際し,襲来するであろう地震の推定と地域の多種多様な被害の危険性の評価,たとえば火災危険度,家屋倒壊危険度,人的危険度などがその前提となる。このうち各種危険度は過去の地震被害を地盤,地形,被害種別,被害程度で分類・整理し,さらに被害相互の関連性を明らかにすることによって評価が可能になると考える(図1)。

明治以降,地震(工)学研究者や行政体が地震後直ちにそれぞれが対象とする被害について調査を実施してきた。これらの調査結果の多くはこれまでも地震防災の進展に重要な役割を果たしてきた。だが先に述べたような危険度評価の資料として見直すと,地震によっては充分な記録が残されていないものもあった。このような地震に太平洋戦争中あるいは直後の1944年東南海地震,1945年三河地震,1946年南海地震があり,資料の収集・編纂が困難な社会状況の故であると想像するに難

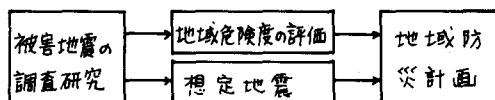


図1. 地域防災計画の基礎資料

くない。また近年に日本付近で発生した巨大地震のいくつかを震度と震央距離の関係(欠田,地震と建築)と死者数で見れば,これらの地震が防災上,重要な地震であることが理解できよう(図2)。

著者は過去の地震被害調査の欠落部分を埋め被害の全体像を掘り起こす作業を開始した。

南海地震では1432人が死亡または行方不明となったが,その死亡事故が適切に分類・把握されてはいない。

本稿は一連の作業の第1報として,高知・徳島両県の死亡事故とその原因についての調査結果を報告する。

2. 調査

高知県内の死亡事故については「南海大震災誌」(高知県,1947)が,徳島県内では「昭和21年12月21日南海道大地震調査概報」(中央気象台,1947)が詳しい。だがこれらは市町村ごとの死者数のみが記載されている。そこで記載された旧市町村ごとに現在の行政区へ,①物的被害状況(家屋倒壊,津波,崖くずれ,水害等),火災)と②そのいずれが死亡事故と関連したか,について郵送アンケートを実施した。さらにアンケート調査終了後に現地で誌史等の資料を収集した。アンケートの回収率は高知県で21/40,徳島県で25/28であった。アンケートと誌史資料から得られた結果を表1に示す。

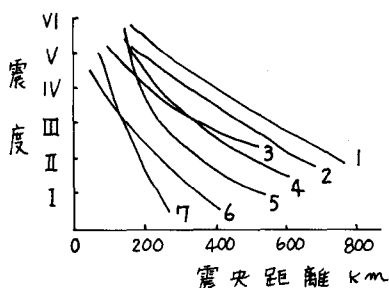


図2. 地震と被害

NO.	地震名	死者数
1	1933年三陸地震津波	3008
2	1946年南海地震	1432
3	1923年関東大地震	142807
4	1944年東南海地震	998
5	1927年北丹後地震	2925
6	1945年三河地震	1961
7	1943年鳥取地震	1083

(理科年表より)

3. おわりに

高知県・徳島県での死亡事故をその原因別に把握することができた。今後は四国二県と同様に被害が甚大であった和歌山県の調査を進める予定である。

最後に調査に協力された各市町村の防災担当者に厚くお礼申し上げる。また調査を進めるにあたり多大な援助を惜しまれなかった加藤 雅氏（東京消防庁，元東京都立大学研修生）に謝意を表する。

表1. 旧市町村別死亡原因

旧市町村名	* 死者数	調査結果						旧市町村名	* 死者数	調査結果					
		合計	家屋倒壊	津波	その他	資料名	発行年**			合計	家屋倒壊	津波	その他	資料名	発行年**
(高知県)								奈半利町	4	4	4			奈半利町史	53
高知市	231	231	多数			高知市史・中	46	室戸町	1					室戸町史	28
清水町	2	2	2			土佐清水市史・下	55	室戸岬町	2	2				室戸岬町史	52
三崎町	2	2	2			同上		佐喜浜町	1	1		1		佐喜浜郷土史	43
下川口村	3	3	3			同上		野根町	8					甲ノ浦物語	
宿毛町	4					宿毛市史	52	甲ノ浦町	10			7			
小筑紫村	1							(徳島県)							
奥内村	1	1			1			徳島市	2	2					
月津村	3		1					南井上村	1	1					
中村町	273	278				中村町史	25	小松島町	1	1	1				
佐賀町	1	2	2			佐賀町郷土史	40	立江町	2	2		1	1		
白田川村	1	1	1					平島村	1	1	1				
大方町	2	12	12			大方町史	38	見能林村	2						
東山村	3							橋ノ町	1						
蔵岡村	1							三岐田町	8	8		8			
具同村	12							日和佐町	1						
東中筋村	1							牟岐町	53	54		54		牟岐町史	51
八束村	1							浅川村	83	85		多い		南海大地震浅川村震災史	
興津村	1							穴喰町	8	9		9			
須崎町	56	69	11	41	49	須崎町史	49	中本頭村	3						
多ノ郷村	4	8		4	4			石井町	3	3	2		1		
吾桑村	1	1	1			吾桑村の厂史と伝説伝承	25	高原村	1	1			1		
高岡町	1							撫養町	9	9	9				
新宇佐町	2	2		1	1	土佐市史	53	大津村	1	1	1				
森山村	3	4	2		2	春野町史	51	北島町	1	1	1				
弘岡中村	1							応神村	1	0~1				応神村郷土史	33
伊野町	4							住吉村	1						
横山村	1							一條町	3						
後免町	3							林ノ町	1	0					
三和村	8							学島村	1	1	1				
十市村	4							山瀬村	2						
日章村	1							脇ノ町	3	6	6				
大忍村	2	2	2					江原町	2	2	2				
夜須町	1	1			1			岩倉村	5	2	2				
安芸町	9	9	9					重清村	1	1	1				

* 高知県は「南海大震災誌」，徳島県は「昭和21年12月2日南海道大地震調査概報」による。 ** 昭和を略す。